

わがやの にんきもの

このコーナーでは、市内在住の1～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。



りおな
倉田 梨央奈ちゃん

恵輔・由美子さんの三女 羽子

3月で2歳になる梨央奈は食べることにアンパンマンが大好きです。お兄ちゃん、お姉ちゃんたちが学校から帰って来ると遊んでもらいたくて大はしゃぎです。おてんばで泣いたり、笑ったり忙しいけれど笑顔と寝顔には癒されます。わが家に生まれてきてくれてありがとう。



ゆい
飯村 結衣ちゃん

純一・陽代さんの長女 高道祖

いつも元気でお話が好きな結衣ちゃん。最近では歌を唄ったり、お気に入りのぬいぐるみのお世話をしたりと、日々の成長に驚かされてばかりだね。本当にパパとママの元に生まれてくれてありがとう。これからも優しく元気にすくすく育てね。



はるか
門井 遙雅ちゃん

達也・由香さんの二男 田町

お兄ちゃんが大好きな、はるかくん。でも、お兄ちゃんが振り向いてくれないことがしばしばあります。でもたまに気づくと、一緒に遊んでいて、とても楽しそうにしています。その姿を見て思わず、にやけてしまいます。これからも元気にすくすくと育ててください。

みんなのギャラリ

上妻幼稚園

楽しかった雪遊び



真っ白な園庭を見て、「雪だ〜！」と嬉しそうなお子たち。友達と一緒に雪だるまや雪のケーキなどいろいろなものを作り、楽しみました。制作では、銀色のキラキラ光る折り紙を見て「雪みたいだね」と楽しかった雪遊びを思い出しながら取り組んでいました。ウィンクしている雪だるまやニコニコの雪だるま…子どもたちそっくりのかわいい雪だるまが完成しました。



▲にし・ほし組の皆さん

口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



いいの こおあ
3歳7カ月時点
(大和保育園)

たいへん
ばあちゃん
たいへん
ビリビリ
まめ
おに
ばあちゃん

【解説】
正座をして夕食を食べていた際、足を伸ばし足がビリビリと感じ雷をイメージしたのだと思います。雷の後のおには、心と連想して出てきて、おにはは、節分の時に豆を投げる眺めに祖父母に初めての体験を一生懸命訴えた気持ちの一言でした。
採集 祖母 飯野久美子

市民文芸

俳句

日向ぼたただだ通る人を見て
埴岸の歌碑に寄りそふ春の水

神郡 貢(高道祖)
中久喜洋美(下木戸)

短歌

長男も二男も父も好きだった
いわしを今は夫婦黙して
母の声の「肩まで沈んで十数分」
子に孫に言ひ今自らに言ふ
野すみれの濃きむらさきにみせられて
小鉢にとりて窓辺に咲かす

倉田 淑子(原)
寺田 陽子(下妻乙)
伊東 豊乃(加養)

わたしから あなたへ



前回登場の塚越純也さんからの紹介



山田 康平 さん(半谷)

「これからの下妻市」

幼い頃から下妻市で生活してきたなかで地域の温かさや住民の方の優しさに触れながら育ってきました。自分が学生の時には登下校の際に地域の方が「おはよう！学校頑張ってるね！」と立哨をしながら優しい挨拶をしてくださったり、部活動で砂沼周辺を走っている「頑張れ〜！」と必ず声を掛けてくださいました。進学を機に下妻市を離れた際、住民の方が挨拶をして

くださることや、地域全体の温かさなど当たり前だと思っていたことがとても大きな存在であったと感じました。

当たり前だと思っていた環境に気づき、自ら行動することが自分たち若い世代には必要なことだと思えます。生まれ育った下妻市に少しづつ恩返しができるようにこれからも何事に対しても一生懸命に頑張っていきたいと思えます。

有料広告欄

有料広告欄